

# 消費者・ ユニビズ サ

「癒(い)やし」を意味するヒーリングという言葉を耳



イビズ社長  
パシオン  
グンジョー  
リンショ  
ー主  
ヒフ喜

ヒーリング、多彩に事業化

挑む21

日経流通新聞

1996年(平成8年)

1月13日

(土曜日)

## 現代人の心、「音」で癒す

ービズを展開する。

主力事業は三つ。その一つが、カルチャースクールなどでのセミナーの開催。渋谷東急プラザでヒーリングに関す

置とヒーリング音楽を組み合わせた新方式の出張マッサー。同マッサーで使う体感音響装置は喜田社長がボディソニック社時代に開発した。

員などから引き合いが多い。三つめは、東京・渋谷の五島プラネタリウムと提携して毎月開く「星空とヒーリングミュージックの夕べ」と題し

にする機会が多くなったが、ヒーリングバイブレーション(東京・世田谷)では、人の心をなごませるヒーリングミュージックを通して多彩なニ

る講座を定期開催するほか、各種企業の依頼を受け、単発で社員研修や顧客対象のヒーリング講座を開く。

この装置を背中に滑らせる。指圧とはひと味違ったマッサーが得られる。クイックマッサーの流行という追い風もあり、企業の幹部社

たコンサート。毎回、三百人前後の入場者がある。同コンサートの成功を伝え聞き、各地に点在するプラネタリウム施設から続々と開催要請が舞い込んでいる。

【きた・けいいちろう】高松市出身、45歳。大学卒業後、BGM製作会社やボディソニック社を経て、三年前に独立。ヒーリングに関する音楽・映像ソフトの製作も行う。